

平成 27 年 2 月 26 日

「社会人基礎力育成グランプリ 2015」の受賞者が決定しました！

経済産業省は、2月26日に拓殖大学において、大学の授業を通じてどれだけ社会人基礎力が伸びたかを学生チームが発表し、その成長度合いを競う「社会人基礎力育成グランプリ 2015」を開催し、大賞1件、準大賞2件を決定しました。

1. 受賞大学(詳細の取組は別紙参照)

【大賞(経済産業大臣賞)】

関東地区代表:創価大学 経済学部

発表テーマ:

男女が共に働き、共に育む社会へ

～学生の学生による学生のための情報サイト、イクメン通信簿プロジェクト～

取組内容:

男性の育児参加による女性の社会進出の活性化をテーマに活動を実施しました。企業・行政・NPO 法人の計 43 名にインタビューを行い、男性社員としては制度利用に対する負担やリスクが大きく、経営者は社員に取得させる動機が弱い構図があるという課題を抽出しました。その解決策として、東証1部上場1812社の男性の育児参加状況や各社の取組を通信簿という形でデータベース化し、学生にとっては就職活動時の情報ツール、企業にとっては他社との比較が出来るよう、ホームページで公開しました。

受賞のポイント:

学生の視点を活かしながら、1812社の取組をデータベース化するという難しい目標に対して、高いモチベーションを維持し、達成したことが評価されました。また、個々の強い想いを活動に反映し、困難を乗り越えたことが社会人基礎力の育成に繋がりました。



【準大賞】

近畿地区代表:大阪工業大学 知的財産学部

発表テーマ:

イクメン商品で自社ブランドを立ち上げる!

～知財力を活かしたマーケティング戦略の展開～

九州・沖縄地区代表:福岡女学院大学 人文学部

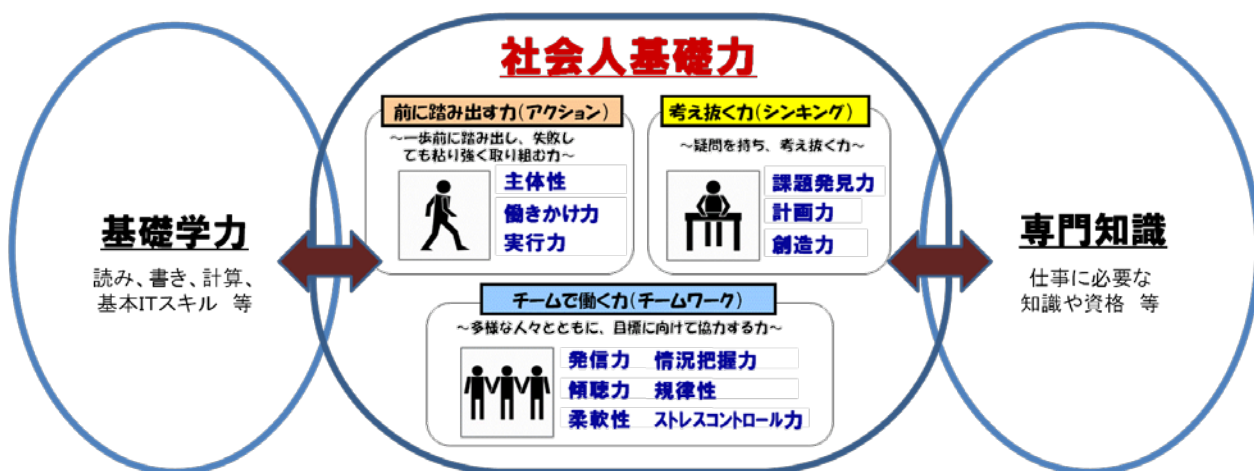
発表テーマ:

大学生の授業改革 近頃問題となっている大学の授業

…地方女子大生がアクティブラーニングの授業改善へ挑む

2. 「社会人基礎力」とは?

ビジネスを取り巻く環境や若者が育つ環境の変化に伴い、現代の社会人には「新しい価値創出に向けた課題の発見」「解決に向けた実行力」「異文化と融合するチームワーク」といった、どの職種にも共通する基礎的な能力が求められています。経済産業省ではこのような能力を「社会人基礎力」と定義し、その育成や普及に取り組んでいます。



※社会人基礎力に関するサイト

・経済産業省 HP 社会人基礎力ページ

<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.html>

(本発表資料のお問い合わせ先)

経済産業政策局 産業人材政策室 小林

担当者: 近田、塚原

電話:03-3501-1511(内線 2671~4)

03-3501-2259(直通)